

【配点】 ①・②・③ 各2点×20 ④③・⑤⑥X 各6点×2 その他 各4点×12

1

建設 綿 衣服 失敗 便利

残念 競う 倉庫 順位 勢い

2

ア オ エ ウ イ

3

指 耳 歯 口 手

4

ウ イ

し	ピ
む	ッ
気	ポ
持	と
ち	の
。	わ
	か
	れ
	を
	お

エ
5
I
ウ
II
a
自
ゝ
角
b
み
ゝ
た

5

ウ A ウ B イ C ウ 使命

ア イ

6	X
や	生
有	命
機	の
物	も
が	と
存	と
在	な
す	る
る	、
	水

Y 砂

(6X 同意可)

(3 同意可)

(5II a 完答)

(5II b 完答)

(2 完答)

① (漢字の書き取り)

1 「建設」の「建」を「健」としないように気をつけよう。「建設」とは「建物や施設を新たに造ること」である。意味と結びつけて覚えよう。2 「綿」は「線」とまちがえて書かないよう気をつけよう。3 「衣服」の「服」の五画目は「フ」のようにすぐにはらうのではなく、下におろしてからはねるように書こう。4 「失敗」の「失」の四画目は上につき出して書かなければならない。「矢」としないように気をつけよう。5 「便利」の「便」は「使」とまちがえて書かないよう気をつけよう。八画目を横棒の上に突き出さないように書こう。6 「残念」の「残」は横棒の数を少なくしたり、右上の点を書きわすれたりしないように気をつけよう。「念」は上半分を「令」としないように気をつけよう。7 「競」は左側と右側で最後のはね方がちがうので気をつけよう。8 「倉庫」の「倉」は三画目を書きわすれたり点のように書いてはいけない。9 「順位」の「順」は右側をつづけ字にしないように、一画ずつはつきり書こう。10 「勢」は右上を「九」としないように気をつけよう。おくりがなもセットで覚えておこう。

② (同類語)

同類語を覚えていくと、文章中で同じ内容をくり返し述べているところに気がつくようになるなど、読解力の向上にも役立つので基本的なものはしっかりと覚えよう。それぞれの熟語の意味を確認しておくことも大切である。「悪戦苦闘」や「完全無欠」など同類語が結びついて四字熟語になるものもあるので一緒に覚えておこう。

③ (慣用句)

体の一部を示すことばをふくむ慣用句は入試でも頻繁に出題されるため、意識して覚えていこう。体のそれぞれの部分のはたらきやイメージと結びつけて覚えよう。

④

1 「うん、わかった。」という発言から、父親の言うことに納得していることはわかる。納得しているにもかかわらず、なぜえさをやったのかを考えよう。

2 ピッポをつかまえてから三週間たっていることは、——線②の四行前にはつきり書かれている。——線②の直前の段落の内容から、ピッポをかわいがっているうちにピッポをはなしたくなってきていることがわかる。ピッポの世話をする時間が楽しかったため、あつという間に感じたのだろう。

3 「なでてやった」という行動には、ピッポに対する優しさや愛情が表れている。ここではピッポをはなす直前の行動であることや、——線②の直前にある「飛ばすのが少しいやになってきていた」という内容をふまえて考えよう。

4 あてはまらないものを選ぶことに注意しよう。「背のびをして」という行動から、ピッポのことを気にしていることがわかるため、アはあてはまる。——線④の二、四行前の会話から、上空を少し旋回しただけで自分のうちの方角がわかったピッポに感心している気持ちが読み取れる。この会話を聞いて空を見ている「ぼく」もこの気持ちに共感していると考えられるので、イもあてはまる。かわいがっていたピッポが飛んでいったのだから、ウの「さびしく思っている」もあてはまる。ぼくはピッポと別れたくなくて飛ばすのがいやになっていたのだから、エにあるように「ピッポがもどってくる」とは思っていないだろう。

5 飛んでいったピッポを見て、——線⑤の四行前で「自分の手をはなれて飛んでしまったものは帰ってこない」と考えている。「飛んでいってしまったもの」とはピッポのことであり、それが「帰ってこない」のだから、ピッポを空にはなしたことを後悔しているのだろう。Ⅱは、ピッポが飛んでいく様子が書かれているところから、字数に合うようにさがそう。

⑤

1 こういった問題では、数字や細かい表現にも注意して、本文としっかり照合することが大切である。それぞれ本文の「太陽のまわりを公転しています」「直径900メートル」「アメリカのチームが発見し」と食いちがっている。

2 それぞれ、前後のことばだけを見るのではなく、文と文とのつながりにしっかり注目しよう。Aは「はやぶさ2がタッチダウンに成功した」という内容と、「タッチダウンだけがミッションだったわけではない」という内容の間にあり、Cは「生命が存在している」とわかっている」と「水や有機物がどこから来たのかはわからない」の間にあり、ともに逆接の接続詞「でも」がはいっている。Bは「小惑星リュウグウについてわかっていったこと」に「考えられていること」が付け加えられているので「そして」がはいっている。「くりかえし用いても構いません」という指示を見逃さないようにしよう。

3 「ミッション」の意味を知っていれば易しい問題だが、そうでなくても「ミッションは、ただ着陸するだけでは」なく、「ここが最大の使命でした」というつながりから読みとってほしい。意味をよく知らないことばについての問題でも、文脈から答えに近づくことができるので覚えておこう。

4 基本的には1と同じような問題であり、ひとつひとつ本文と照らし合わせるが、「あてはまらないもの」を答えることには注意しよう。アは、本文の「食べものはみんな有機物です」と合わない。

5 直後の文の「地球の生命」という表現からわかる。また、「生命が存在している」「太陽系でただひとつの天体」の二つからも推測できる。エの「はやぶさ2」は「天体」で足りない。

6 「リュウグウ」と「地球の海と命」にどういう関係があったのかを考える。「海」や「生命」が存在するために必要な「水」や「有機物」があるかもしれない「リュウグウ」の「砂」を調べるために、「砂をカプセルにつめて地球に持ちかえること」が「はやぶさ2」の「最大の使命」なのである。